

# 前期振り返り

J20052 竹中丈二

## 前期探究概要 (蚕糸業に関する自分の見解を持つ)

- 書籍やアーカイブから情報を収集する
- 蚕糸業に関する施設を訪問する (岡谷市、長野県立歴史館)
- 小諸講座準備の手助け (デジタル化など)



# 情報収集

- 書籍などによる情報収集は、具体的には「蚕糸王国信州物語」という本を基にし、得た情報をデジタルマップに投稿して説明する経験を積むことで知識を形成しようとした。

2964		上田蚕糸専門学校-1	プロジェクト研究	上田の歴史（貿易、蚕糸業、金融）	編集	削除
2955		小県蚕糸学校-2	プロジェクト研究	上田の歴史（貿易、蚕糸業、金融）	編集	削除
2949		小県蚕糸学校-1	プロジェクト研究	上田の歴史（貿易、蚕糸業、金融）	編集	削除
2942		「蚕都上田」という呼称	プロジェクト研究	上田の歴史（貿易、蚕糸業、金融）	編集	削除

## 探究内容1 岡谷市探索

6月に製糸業の街・岡谷市を探索し、製糸業の歴史や岡谷市が自らの歴史をどのようにして伝えているのかについて調べた。具体的には、岡谷蚕糸博物館、旧林家住宅を探索した。





# 岡谷蚕糸博物館

- 岡谷蚕糸博物館で最も興味深かったのは、岡谷市で創業された片倉組（現・片倉工業）のコーナーである。
- 片倉組は、製糸業で財を成し、「片倉財閥」とも呼称された。1939（昭和14）年には富岡製糸場を経営した事でも有名である。
- 現在は世界遺産に登録され、「群馬県」を代表する遺産になっている富岡製糸場でさえ、長野県の影響を受けていたことに興味を感じた。





# 旧林家住宅

- 旧林家住宅とは、岡谷を代表する実業家の一人である林国蔵の居宅である。
- 林国蔵は、片倉組の創業者である片倉兼太郎と共に器械製糸場である開明社を設立し、また製糸業だけでなく鉄砲業、通信業などあらゆる産業に進出した。
- 当施設は、「金唐革紙」と呼ばれる貴重な壁紙を張り巡らせた部屋や、商談相手を接待するために当時では珍しい洋室を設けているなど、岡谷製糸業の繁栄ぶりを伝えている。





## 探究内容2 長野県立歴史館

- 7月に屋代氏にある長野歴史博物館を訪れ、長野県の全体の歴史について触れた。
- 長野歴史博物館で最も興味を持った展示物は江戸時代の蚕糸業に関する浮世絵である。明治・大正・昭和と長野県を発展を支えた蚕糸業であるが、その源流は江戸時代には既に存在していたことを表すものであり、関心を持った。



# 評価

探究内容が調べもので完結してしまい、蚕糸業に関する見解はおおむね持つことが出来たが、これを今後の研究にどのように生かせるかが不透明になった。



蚕糸業そのものの探究ではなく、別の視点から探究を活用する必要がある。



# 非公開資料のデジタル化

小諸講座の準備手伝い・・・非公開の保管資料の存在（蚕糸業含）

小諸には公文書館がなく、資料は古書店などで購入が必要。

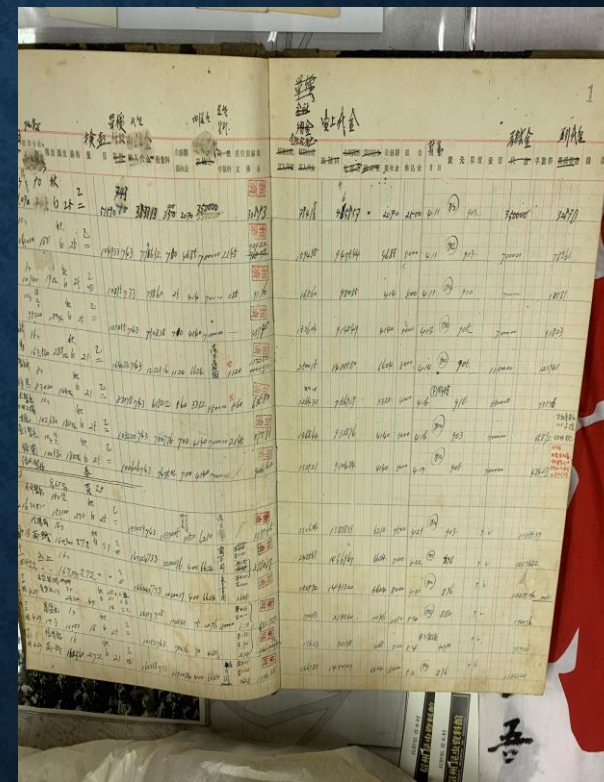


これらの資料はほとんど活用されず、放置されている！

デジタル化による活用機会の提供が必要！



# 小諸講座手伝いの様子





# デジタル化によるメリット

- 資料が永久に活用可能な状態となるため、学校やキュレーターによる蚕糸業の学習機会を与えることが出来る。
- AI（人工知能）が普及する時代においてもデータが残るため、地域の情報喪失を回避できる可能性がある。

# 探究テーマの変更

- 今後の探求テーマを「蚕都上田の考察」→「小諸の製糸業の非公開資料のデジタル化」に変更。



## 今後の探究活動

- 小諸講座準備の動画編集をする。
- 小諸の資料のデジタル化について考察する。（著作権配慮）
- デジタル化資料の整理について考える。（利用者が使いやすいように）

ご清聴ありがとうございました。